

日本材料学会 疲労部門委員会 第9回疲労に関する表面改質分科会
参加報告

修士4年 羽山元晶

学部4年 牧悠介

私たちは6月21日に東北大学青葉山キャンパスで行われた第9回疲労に関する表面改質分科会に参加してきました。この分科会は疲労特性に及ぼす表面改質の効果を明確化するために材料学会の疲労部門委員会内に設立されている研究グループです。

今回の分科会では、まずこれまでの各機関での研究進捗報告、ならびに共通材料を用いた疲労試験についての議論が行われました。その後、日本パーカライジング株式会社の渡邊陽一氏による「浸炭焼入れした鋼の強度と破損」についてのご講演、東北大学小川和洋教授による「コールドスプレー法を用いた超高強度鋼溶接継手部の疲労強度改善」についてのご講演が行われました。浸炭材料は小茂鳥研究室でも研究対象として扱っており、その材料の基本的なお話、過去の研究、そしてこれからの研究についてのお話があり非常に参考となる貴重な内容でした。またコールドスプレーに関する講演ではコールドスプレーを用いて溶接材料の疲労特性の行っており非常に興味深い内容でした。また、私自身コールドスプレーを初めて知りましたが、成膜速度の速さや形成された成膜層の強度の強さなど驚くところが多い技術でした。また講演後には東北大学小川・市川研究室の設備を見学させていただき、コールドスプレーのマシンや実際に処理した材料などを見せていただきました。

終了後には学生ながら懇親会に参加させていただき、分科会にいらしていた先生方とたくさんのお話をさせていただきました。今後の研究に役立つお話をたくさんさせていただきましたとても貴重な時間となりました。

最後に分科会に参加する機会を与えていただいた小茂鳥先生、また分科会でお世話になりました全ての方々にこの場を借りて御礼申し上げます。